

## 創生総合戦略に対する若者・女性からのご意見

## 【8月9日時点の聴取状況】

## ・大学生（7/11 中部学院大学学生から聴取）

中部学院大学 学生64名

男性：19名、女性：44名、無回答：1名

10代：42名、20代：20名、40代以上：1名、無回答：1名

## ○意見

## ◆ふるさと教育

- ・「清流のぎふ」を支える人づくりのふるさと教育について、私は高校までに授業で行って、そこで市や県の状況やよい点を知れたので、ふるさとについて興味をもつきっかけになると思いました。【10代・女性】
- ・県民であっても岐阜のことをよく理解していなかったり、よさを知らない人が多いので、ふるさと教育は続けていくべきだと思う。【10代・女性】

## ◆いじめ・差別

- ・「いじめ」「差別」がゼロの岐阜県になってほしい。【10代・女性】

## ◆デジタル教育

- ・若い世代（学生）は、スマホの操作には慣れているが、パソコンにあまり慣れていない。高齢者だけでなく学生も、働く上で困らない程度のパソコン技術を高校までに教わりたいです。【10代・女性】

## ◆ワーク・ライフ・バランス

- ・男尊女卑「女は家庭、男は外仕事」とかの昔の考えが根強い。【20代・女性】

## ◆子育て

- ・子育てをしやすい環境の整備やお金の面での支援、子供の教育にかかるお金を減らすことで、出生率の改善につながっていくのではないかと思います。（育休の取得率向上、子育て家庭への経済的支援、保育士の給与改善など）【20代・男性】
- ・児童手当等の給付額アップ、拡充（例：高校まで or 大学まで給付）【10代・男性】
- ・自分が子供を育てる立場になった時、仕事もしつつ、子育ても頑張っていきたいと、今から考えているので、その時には今よりも子供を産み育てやすい環境づく

りをしておいてほしいと思いました。【10代・女性】

- ・子どもを育てやすい社会（子供のイベントで休む日も給料が出る。）【20代・男性】
- ・岐阜は落ち着いていてゆったりと時間が流れている県だなと思います。“心豊かに生活ができる”という点を若者や子育て世代に同じ世代の人が発信していくべきだなと思います。同じ世代だからこそ見える景色、アピールポイントがみえてくるのではと思いました。【10代・女性】

#### ◆高齢化

- ・北部は高山や白川郷があり、岐阜の観光を担っている半面、高齢化が進み、人口も減っている。どう対策するのか。【20代・女性】

#### ◆産業・雇用の創出、企業誘致

- ・新たな雇用を生み出すことも、人口減少の改善につながると思いました。そのために、新しい産業での取り組みや、企業の招致が必要だと思いました。【20代・男性】

#### ◆インフラ（中山間部、デジタル）

- ・都会と比べて、特に山間部では、生活が不便。（交通の便が悪い、どこへ行くにも車が必要、流行りが遅い、情報に特化・進んでいない→5G非対応地域、光回線対象外地域等）【20代・女性】

#### ◆まちづくり、魅力づくり

- ・地域の住民の交流がさかんになり、多くの世代の意見を反映することができれば、よりまちづくりについて考えられると思います。【10代・女性】
- ・人口を増やす事に力を注ぐより、人口が減っても、幸せに生活し続けられるまちづくりを考えていくことが必要な時期なのかもしれないと思いました。【40代以上・男性】
- ・駅がにぎやかな町（バス停や駅前に店がたくさんある町）【20代・男性】
- ・テレビなどで都会にあこがれて、岐阜県外に出ていってしまうということは、あると思うので、一度でていっても戻ってきたいと思える、岐阜県ならではの魅力が必要なのかなと思いました。【20代・女性】

- ・今後、高校生（8/19 県立可児高校生徒）、女性（8/30 ダイバーシティ in 岐阜参加者）からも意見聴取予定。